

第5回  
武蔵野市立第一中学校改築懇談会

令和2年10月26日  
於 武蔵野市立第一中学校 視聴覚室

武蔵野市教育委員会

## 第5回 武蔵野市立第一中学校改築懇談会

○令和2年10月26日（月曜日）

○出席委員

中嶋座長 清水副座長 磯川委員 伊東委員 檜原委員 鈴木委員 坪井委員  
富岡委員 長嶋委員 日名子委員 平田委員 本郷委員 三原委員

○事務局出席者

西館教育企画課学校施設担当課長 渡邊教育企画課長 木村副参事 深見課長補佐兼財  
務係学校改築担当係長事務取扱 関主査 藤野主事 渡邊主事

○進行

1. 議事

(1). 第一中学校改築基本計画素案（案）について

2. 報告事項

(1). 第一中学校改築基本計画素案への意見募集および今後の予定について

---

◎事務局挨拶

---

◎議事(1) 第一中学校改築基本計画素案(案)について

○座長 議事1、第一中学校基本計画素案について、事務局より説明をお願いします。

○事務局 資料2をご覧ください。

武蔵野市立第一中学校改築基本計画素案(案)です。目次をご覧ください。第1章から第5章まであります。

第1章が基本計画の背景と目的。第2章が改築校の概要。第3章が基本方針。第4章が整備方針。第5章が改築事業の概要です。

参考資料として、改築懇談会設置要綱、懇談会委員名簿、事務局名簿、懇談会の開催状況、基本方針・整備方針に関する意見一覧、学校アンケート、近隣アンケート結果を抜粋で掲載しています。

まず第5章、改築事業の概要から説明します。

(1) 改築計画施設の予定規模として、校舎棟、体育館棟、付属建物の延床面積を記載しています。基本設計・実施設計を行っていないので、数値は目安です。

階数と構造ですが、校舎棟は鉄筋コンクリート造、4階建。体育館棟は鉄骨造、一部鉄筋コンクリート造。階数が地上1階建、一部2階建と考えています。

(2) 構成諸室です。昨年度策定しました『武蔵野市学校施設整備基本計画』にそって記載しています。普通教室、特別教室、ラーニング・コモンズ、管理諸室、特別活動・生活諸室、共用諸室、特別支援諸室、PTA・地域の開放のゾーンとまとめています。体育館棟は、体育室、器具庫、更衣室、トイレ、避難所としての防災倉庫、備蓄倉庫等と考えています。

(3) 建物配置です。仮設校舎を用いた改築計画とします。仮設校舎は、井之頭小学校改築時の使用を考慮し、小学生利用を前提とした設えとします。井之頭小学校の仮設校舎利用を行うので、改築期間中も最大限校庭を確保する観点から、北案となりました。

次に、第一中学校配置計画の考え方を説明させていただきます。

校舎を東西南北にそれぞれ配置した4案を候補とし、改築懇談会での議論、近隣住民へのアンケートを経て、校舎を北側に配置する計画となりました。第一中学校は井之頭小学校改築中、小学校の仮校舎として利用する必要があることから、小学生利用を前提とした仮設校舎の建設を行います。

また、改築懇談会委員の意見、近隣住民アンケート意見を参考に、現段階の課題を解決するプランとして北配置案のバリエーション案①から③を提示しています。基本プランの現段階の課題ですが、テニスコート位置が既存南西角から北東角になり、新たな周辺への影響が懸念されること、工事中体育館が利用できないこと、これらの二点は、事務局でも

非常に大きな問題だと捉え、バリエーションを考えています。

まずバリエーション②、③をご覧ください。北側のテニスコートの音、砂埃等に配慮するため、テニスコートとプールを入れ替えたプランです。

バリエーション②のデメリットは体育館とプールが離れることです。また、工事中体育館が使用できないことについては、解決できません。

バリエーション③は建物が東西に長くなるので、内部動線が長くなります。

続いてバリエーション①をご覧ください。基本プランの新テニスコートの位置に新体育館を移動したことで、テニスコートの音と砂埃の問題が回避できるプランです。

メリットは、工事期間中、小・中学校共用時に新体育館を中学校、既存体育館を小学校が使用できることです。また、既存体育館3階部分に広いスペースがありますので、仮設校舎の面積を小さくできます。学童・あそべえとしても、図書館としても使えます。

また、新体育館を北東側に配置することで、既存校舎と同様に建物が東西方向に長くなり、校庭と北側隣地との間の緩衝材となります。そして、基本プランよりも若干校庭が広く取れます。

デメリットは、新校舎北側の建物形状が階段状となることです。また、日影規制により体育館の天井高さに制約が生じます。切妻屋根の一番高い部分は10m程度取れますが、北側マンション付近は7.5mと若干低くなります。また、井之頭小児童の新校舎への引越し後に既存体育館を解体するため、工期が他の案よりも約一年長くなります。また、体育館とプールが離れます。北側体育館を移動することによって、北側及び東側の近隣住民へ音の懸念が生じます。

バリエーション①について、体育館で一番問題になるのが、バスケットボールをする際のボールをつく音、体育館の床にシューズが擦れるキュッキュツという音のようです。昼間の時間帯はそれ程問題にならないと思いますが、地域開放した時、夜間9時くらいまでの時間を心配しており、先生方も心配されています。そこで、事務局で音の問題を検討しました。

北側マンション側の壁を、開口部を設けない鉄筋コンクリート造にすると、音が約50dB程度低減されることが分かりました。南側の壁上部に大きな窓を設けて光を取り込み、下側に入出力できる扉を設けます。北側の壁下方に換気ガラリ等を設け、南側上方の開口部に風を抜くことを考えています。当然ガラリを設けると開口部になりますので、音漏れについては防音壁を設け、音をコントロールすることを考えています。更に緩衝材として樹木を植えることで、第一種中高層住居専用地域の騒音規制値はクリアできると考えています。

次に音の問題に関して、バリエーション①から③以外にもう一つ、別案を検討したので、紹介いたします。この案では新体育館と新校舎を入れ替えています。

既存体育館を残しながら新体育館を造るため、新体育館は北側に寄せる必要があります。こうすることで北側、東側の近隣住民に対して、体育館の音は解消されますが、北側隣地

境界と建物の距離が1.5m程度しか取れない点は心配しています。また、斜線制限などにより、体育館屋根の北側の一部は斜線制限に合わせた形で設える必要がありますが、北側の一部分だけなので体育の授業には支障がないレベルと言えます。こちらの空間については、やはり子どもたちが隠れたりするような好ましくない空間になりそうなので、ここについては全く入れないような設えにしようと思っています。

生徒や地域開放の方々が「かたらいの道」から入って来ますので、新体育館と新校舎間にピロティを作ることで、建物周囲をぐるりと周れるようにできると考えています。

次に想定工程・想定工事ステップ図です。上段が工期、下段がステップです。

ステップの上段がバリエーション②、③です。ステップ1として仮設校舎を建設します。ステップ2で既存校舎、体育館を解体します。ステップ3で新校舎、新体育館の建設を行い、ステップ4で中学校が新校舎、小学校が仮設校舎を共同利用します。ステップ5で仮設校舎の解体、外構工事を行い完成というステップです。

バリエーション①では既存体育館を残すので、ステップ5がバリエーション②、③よりも一年長くなります。

時間軸が入っている工程表をご覧ください。まず令和4年の2月頃には仮設校舎の建設を始めたいと思います。そして令和4年の夏休み期間中に、仮設校舎に引越していただき、その後既存校舎、体育館の解体に入ります。そして新校舎、新体育館の建設を令和5年、令和6年で実施します。令和6年度末に中学生は新校舎へ引越していただき、令和7年から令和9年まで井之頭小学校の児童が仮設校舎に同居する形になります。その後、仮設校舎の解体、テニスコート建設、外構工事を行い、バリエーション②、③は令和10年度途中までの工期となります。

バリエーション①は既存体育館解体が後に回るので一年延び、工事は令和11年度までと考えています。

本日は事務局で考えたバリエーション案について、皆様から意見を頂戴できればと思います。

○座長 建物配置と工程について、質問、意見がありましたらお願いします。

○委員 基本的なことを学校側に聞きたいのですが、プールと体育館が離れてしまった際、着替え等はどうなりますか。イメージできなかったのですが、離れても大丈夫なのか教えていただければと思います。

○座長 プールにも更衣室はありますが、入替えの時間は大人数になってしまうので、体育館の更衣室等も使います。そういう意味ではなるべく近い方が便利ということはありません。

体育館の更衣室は、無ければ無いで、何とかしています。例えば校舎の更衣室で着替えてからプールに向かわせるクラスと、プールで着替えるクラスが、上手く重ならないように指導する方法をとっています。

○事務局 事務局としてバリエーション①と別案を残した理由ですが、体育館を残せる点

が非常に大きなメリットと考えています。井之頭小学校の児童が来た際に、まず中学校まで通学することも負担をかける。更に体育館が無いとなると、外に移動しなければいけない。学童・あそべえもこの敷地内に作ることは非常に難しいので、更にそれも移動しなければいけないということもあり、既存体育館が残せれば、ここのフロアを学童・あそべえでも使えますし、小中同時利用する時は、既存の体育館を小学生が使い、新しい体育館は中学生が使えるので、非常にメリットが大きいと考えております。やはり児童、生徒のことを優先に考えるのであればバリエーション①又は別案が良いのではないかと考えて提示させていただいています。

○委員 生徒の立場に立って、4案作っていただき、感謝しています。ただ、①と別案に関しては、もう一度確認したいことがあります。①と別案の場合にプールと体育館が離れると、先ほど、更衣室の問題は確認できましたけれども、防災上どの程度不都合があるのか確認できたらと思います。

○事務局 プールの水は災害時トイレを流すための水として使用しますが、事務局の検討では、水中ポンプを使えばクリアできると考えています。

○委員 基本的にプールの水は非常トイレに使いますから、それは問題ないと思います。体育館と新校舎が一体化することで、音の問題がなければ、支障は無いと思います。

避難所として使う場合には、当然体育館だけでは足りなくなってくるから、校舎も一部使います。新型コロナやインフルエンザは隔離が必要で、そうなる、一体化したほうが管理しやすいと思います。

体育館が無くなってしまうと、工事中は仮設校舎に入ることになりますので、既存体育館が残ってあれば、災害時は既存体育館を利用できるメリットはあります。

○委員 防災という観点からは、別案が一番良いと思います。正門から入ってすぐに体育館があり、工事中旧体育館が温存されている。防災の観点からしたらこれが一番すっきりしている気がします。

○事務局 校舎と体育館を一体化することで、音が心配という点ですが、校舎と体育館は構造的には縁を切るの、振動等は伝わりません。

壁に設ける開口部に、防音性を持たせた扉を設ければ、十分コントロールできると思っています。

○委員 完成後、プールと体育館が分かれた場合、教室で着替えた生徒は一度外に出る形なのですか。2階からプールに繋がる動線みたいなものがありますか。それによって、例えばプールの更衣室で全員が着替えられればいいですが、できない場合に、一回外に出てというのは女子としては嫌かなと思いました。女子は更衣室、男子は教室で良ければいいですが、先生方を含めてご回答をお願いします。

○副座長 以前、私が体育の教員をやっていた時に、更衣室が小さいプールだったので、女子はプールの更衣室で、男子は教室で着替えていました。

○委員 今回の場合は、プールの更衣室がどれくらいの広さをとってもらえるのか分から

ないのですが、プールの更衣室が小さかった場合、一度外に出て歩くのはちょっと嫌かなと個人的に思いました。そこをきちんとしていただければ、離れても良いのかなと思ったのですが。

○副座長 はい。もちろんその辺りの配慮は考えていくことになると思います。

○事務局 具体的には設計段階で、学校と調整したいと思います。

更衣室は設けますが、広さについては現段階でどの程度と申し上げられません。こういう意見があったということで、設計段階で考えたいと思います。

○委員 私も防災の観点で既存体育館を常に残しておくことはとても大事だと思いますので、①、別案が良いのかなと思いました。

一つ質問があるのですが、別案のプールの位置を北にずらすことは可能ですか。プールやテニスコートを北にずらし、体育館の横に配置して、南面は校庭として広く使う。そうすると100mの直線走路も確保できそうな気がします。

ただ一中フェスタをしている時等、車で来校する講師が多くいらっしゃるので、車の置き場所も考えていただきたいと思います。一番は生徒の使いやすさなので、やはり体育館の横にプール、テニスコートをもっと北に寄せれば、南側のマンションが離れますので、考慮いただきたいです。

○事務局 今このスペースは正門から入ったアプローチを考えています。ここから生徒が校舎へアプローチする。一定空間を設けることによって、テントを張ったり、何かイベントをする時の、校庭に入る手前のワンクッション、良い空間として使えるのではないかと思います。このような設えにしています。これを南側に持っていくと、遠くなるかなと思いますが、それ程支障が無ければ、できないことは無いと思います。

駐車場はきちんと確保しますので、意見として伺いまして、設計段階で検討します。正門の位置が少し変わりますので、中央コミセンとの距離が離れてしまうという所と、昇降口までの距離がどの程度かを総合的に判断し、検討させていただければと思います。

○委員 私が思っているのは、今の校舎とこの体育館の距離感です。2階通路から1階のプールに降りる。1階はそのまま下を通れますので、生徒達の登下校に使っていますが、この程度の距離感まで詰めれば良いのかなと思います。プール、駐車場、テニスコートみたいな。駐車場と決めつけなくても、広場があると考えたらプールにも外からの視線を気にせずに2階から入れるのかなと思いました。

○委員 先ほど、更衣室のお話がありましたが、更衣室は全クラスで使うのですか。

○座長 最大2クラスです。一部屋に40人入って着替えなければいけません。入れ替えのもう一クラスが入って来て20人増えるので、最大が60人です。

○委員 災害時に更衣室を隔離用を使用することで、教室を一部使わなくて済むかなと思います。できればプールの横に更衣室を2部屋作っていただくと、避難所としては有意義になります。ただそれが建物の建築上で面積が大きくなると、また大きな問題出てきますけども、上手くいけば良いのではないかと思います。

○事務局 プールには更衣室を設けます。災害時は委員の仰った使い方もできると思います。大きさについては、先ほど申し上げたとおり、学校側と調整して考えていきたいと思っています。

○委員 私は一中の正門を入れて玄関に入るまでの、エントランスの部分がとても好きなのですが、①案や別案になると、入口が狭い正門からの建物、多分いきなり体育館になると思うので、景観、いわゆる来校者の玄関、エントランスはどういう形になるのか教えてください。

○事務局 はい、西側にエントランスを考えています。先ほど委員の仰ったようにプールを北に寄せても、エントランスのような空間は取れると思います。

○委員 正門の位置をずらすことはできますか。

入ってすぐ体育館が目の前よりは、エントランスに正門があった方が、見た目は美しいかなと思います。

○事務局 できると思います。学校に真っ直ぐ入って来られるように、正門の位置は変える方向で考えます。

○座長 ヒマラヤスギは残りますか。

○委員 一中の改築懇談会について、卒業生に意見を求めた際に、ヒマラヤスギを残して欲しいと言われました。

○事務局 ①、別案共に恐らく新校舎と接触します。

○座長 基本プランも、バリエーション案も、全部ヒマラヤスギは無くなりますか。

○事務局 どのプランもヒマラヤスギ、シンボルツリーが建物に当たりますので、移植の方向で考えなければと思います。移植時に根付くかという問題はありますが、残すのはプラン上厳しいと思います。

○委員 ヒマラヤスギだけ、移植に一番良い季節を選ぶことはできますか。工事の時に移すのではなく、季節的に杉の移植に一番適切な時期に移せますか。

○事務局 移植は一番良い季節を選んで行います。ただ、それが本当に根付くかは保証できません。

○座長 ヒマラヤスギは一旦置いておいて、どのプランが良いか考えますか。

○事務局 ヒマラヤスギについては、今年測量を行って、正確な位置を調べ、できる限り残す方向で検討していきたいと思っています。設計段階でもよく調査した上で位置を確認し、上手く避けられるかどうか検討したいと思っています。

また、万が一移植する際は時期を見て、移植ができるかは樹木医とよく調整しなければいけないと思っています。

ただ、非常に大木になっていますので、移植となると非常に難しいので、なるべく新校舎に当たらない方向で検討したいと思っています。

○座長 それ以外に、この配置等で意見がありましたらお願いします。

今までいただいたお話の中では、プールを少し北に寄せると良いのではないかという意



見がありました。

私が事前に頂いたお話では、現在の 40 人学級であれば人口ピーク時でもこのクラス数、設計で大丈夫ですが、少人数制になって 35 人学級、30 人学級になると、教室が不足する可能性がある。そうした時に増築する可能性も出てくると聞いていますが、スペース等について、事務局いかがですか。

○事務局 設計段階に入らないと中々具体的な話はできないのですが、一定のスペースがあれば、一時的でも教室数が不足する場合に使えらと考えています。

○座長 恐らく本当の人口ピークは何年も無いと思います。この間は、一時的に仮設校舎を使用する方法もあるという話なので。

○事務局 現在この資料は素案の(案)となっていて、この(案)を取った形にするために、意見募集をしたいと思っています。事務局としては、体育館を残す①、別案、この両案を掲載し②、③は削除したいのですが、よろしいですか。

近隣アンケートは基本プランを元にしていきますので、これは消せません。現段階の課題を解決するためのバリエーション①と別案を考えましたということで残して、①と別案、設計段階でどちらか最適なプランにするという形にしたいと考えています。

事務局側で、①を残すのかという話も出ましたが、別案のみとしてもよろしいですか。

○委員 先ほど、委員から 100mの直線走路の話が出ましたね。この別案でしたら、テニスコートのフェンスをずらして、そのまま 100m持ってきてテニスコートの所に走路を入れることはできませんか。

○事務局 テニスコートはボールの関係でネットを張ります。ですので、直線走路の向きを変えれば、逆方向で 100m走路が確保できるかなと思います。テニスコートはやはりテニスコートとして作りたいと思います。

プールの位置を北に寄せた時に、上手く確保できるかは検証していきたいと思っています。

○座長 先ほど別案だけにするかという話でしたが、どうですか。私は騒音とかが気になってはいますが。

○事務局 中々この場で結論を出しづらいと思いますので、事務局で持ち帰り、懇談会では①と別案が推されましたということで、2案残すか、別案だけにしてしまうのかは、事務局側で責任持って判断させていただいてよろしいですか。

○座長 建物配置と工程についてはここまでといたします。次に素案のその他の部分についての説明をお願いします。

○事務局 それでは第 1 章から第 4 章まで説明させていただきます。

第 1 章、基本計画の背景と目的です。背景としては、平成 25 年に策定した『公共施設再編に関する基本的な考え方』において、公共施設は、築 60 年までは使用すると決定しました。今回、第一中学校校舎は築 60 年になりますので、建替えることになりました。本年 6 月から学校関係者、保護者、学区内在住者、地域団体代表者で構築する改築懇談会で、意見を伺いながら基本計画の策定を進めて来たという経緯を示しています。

目的としては、改築事業を進めていく上での基本的な考え方を示すと共に、今後第一中学校の設計を行うための新たな学校施設の規模、配置及び事業スケジュール等与条件の整理を行うということとしています。

第2章、改築校の概要です。(1) 地域・地区要件等について、都市計画で定められている規制です。用途地域は第一種中高層住居専用地域、建ぺい率60%、容積率200%、第二種高度地区、準防火地域、3時間、2時間、測定面4mの日影規制が定められています。

(2) 学区域は、提示のとおりです。

(3) 生徒数・学級数の推移は、平成30年に実施した推計値です。令和2年の313人、9学級が実績値です。ピークが令和12年の601人、18クラスで、このピークに合わせて学校を作る計画です。あくまでも推計値ですので、大きく変化すれば改めて推計を行い変更していきたいと思っています。

(4) 部活動の状況は、記載のとおりです。

(5) 学区周辺における浸水想定です。以前雨量の件を説明させていただきましたが、この浸水想定はかなりの大雨を想定しています。第一中学校は、校庭の南側の一部に0.1m~0.5mの浸水予測がされています。今回は校舎が敷地北側に配置されることから、建物に対する被害は無いと思いますので、特別な対策は必要無いと考えています。

(6) 改築校の現況です。航空写真、左下に番号ごとの施設名、築年度、構造、階数、面積を記載しています。校舎が昭和38年築造で、築57年を迎えます。

次のページは現在の校舎等を写真で紹介しています。第一中学校は第五中学校と同じで外廊下です。雨天時は非常に困るという話を頂いています。音楽室棟は残す予定です。第一中学校には校庭にナイター照明がありますので、設備は残しますが、今の物が使えなければ交換します。先ほど話が出ましたシンボルツリーも紹介します。

続いて基本方針です。三つの方針を掲げています。一つ目、生徒の自主的な活動を支援し、多様性に応える柔軟な施設。二つ目、地域の拠点として、様々な交流・連携を育む学校。三点目、知・徳・体をバランス良く育み、将来にわたり探求的かつ協働的な学びの充実に資することができる施設。

続いて4、整備方針です。(1) ①教室、教室周りについて、感染症対策に配慮し、教室と廊下間の可動式間仕切壁の設置や、適切な換気方法等を検討します。コロナの関係で廊下の空間も使うこと、グループ学習時に教室の中では収まらないことを想定しています。

新JIS規格の机の使用を前提としたレイアウトを検討すると共に、生徒の教材が大きくなっていることを踏まえ、ロッカーの大きさ、配置等を検討します。

国や東京都の少人数学級導入の動向を見ながら対応を検討することを追記しています。この少人数学級はまだ方向性が出てはいませんが、事務局でもアンテナを張って、もし一中、五中の設計時に具体的な動きがあれば、対応したいと考えています。

次に②ラーニング・コモンズです。主体的かつ探求的な学習活動を支援するため、学校図書館の機能に、ICT機器を活用できる環境を兼ね備えたラーニング・コモンズを整備

します。

体育施設ですが、プールは平置きとし、安全に十分配慮しながら、外部からの視線を遮る工夫を行います。

③体育館は、避難所としても利用されるので、円滑な移動のため、地上1階に整備します。

④のバリアフリー・ユニバーサルデザインです。エレベーターを一基は設置します。各階に多機能トイレを設置します。1階と避難所になる体育館には、年配の方でもオムツ替えができるような大きなベッド等が設えられている機能の充実した多機能トイレを、2階から4階の多機能トイレは、車椅子でも利用できる大きさを確保したいと考えています。

次に⑤の設備・構造です。各教室に冷暖房・換気設備を設置します。将来の人口減少も見据えて、空き教室を容易に他用途に転用できるよう、スケルトン・インフィル構造とします。

一般的に教室間の壁は、コンクリート造で容易に壊せません。そのため、設えの変更ができず機能的限界が来ている状況です。今後の学校は破壊可能な壁とし、別の部分の柱等で、耐震性は確保しようと考えております。

次に(2)防犯対策・安全対策です。機械警備、正門の電気錠、防犯カメラ、校内内線電話、学校110番を設置します。現在は校内内線電話が無く、先生方が非常に困られているということなので、きちんと相談しながら決めていきます。

そして、敷地内の歩車分離を図ります。

地域連携・開放施設として、開放用の多目的室は、地域のコミュニティルームとして活用できるように開放エリア内に整備します。

(4)避難所です。自立運転機能付きの太陽光発電設備を導入します。また、蓄電池等非常用電源の導入についても検討します。太陽光発電で蓄えた自立運転機能は災害時の照明と使えるように考えています。蓄電池は、種類・容量について今議論をしている所で、空調等の電源になるかと思えます。

物資の荷捌きスペースの設置について、災害時の物資搬入に支障がないように検討します。

(5)環境との共生で、省エネルギー化等、環境配慮型施設の具体化を検討します。

既存の樹木をなるべく残す設計とします。多摩産材の活用について、補助制度の活用を踏まえ検討します。

(7)第一中学校の特徴を活かした整備方針として、音楽ホールを残した設計とします。中央コミュニティセンターとの連携を考慮し、西側に正門を設置します。

特別支援学級、エコルームについて、教育上効果的な配置を検討します。

「かたらいの道」沿いに歩道状空地を整備すると共に、景観に配慮した設計とします。

敷地内に落ち葉溜めを設置し、市民団体によるたい肥製造を継続します。

○座長 今の説明について、質問、意見がありましたらお願いします。

○委員 避難所ということで色々な項目を入れていただきましてありがとうございます。体育館の中に100㎡の備蓄倉庫があると聞いています。問題なのは、これから東京都でもやりますが、段ボールベッドを設置するという方向です。これは郊外の段ボール業者が災害時に持って来る方法です。そうすると道路が寸断され、間違いなく1週間から10日は来ません。その状況でどうしてもベッドが必要な人に、最低でも50人分等のスペースが必要だと思うので、100㎡よりも、もう少し増えた方が段ボールベッドの保管が可能かなと思います。どうしても脚の不自由な方で、床に寝られない方に使うということですから、最終的には少なくするしかないのですが、そんなことも考えていただければと思います。

今、一中は毛布が1,200枚あります。それ以外の学校は訓練用で40枚から50枚はありますが、これでは足りません。一中で決定したことが全校揃えとなると大変かと思いますが、段ボールベッドも少し保管しなければならない状況です。

○事務局 防災倉庫は100㎡と昨年度の全体計画で決定している関係で、委員からお話を頂きました。

100㎡はそれなりの広さを確保したつもりです。今、お話にあった段ボールベッドについても、認識はしています。防災課と協議して、100㎡に収まるように、必要な物を配備してもらいたいと思います。どの程度配備できるのか整理をさせていただければと思います。

○委員 学校側にですが、100㎡に学校の備品を入れることはできなくなると思います。学校側で、またどこかに備品の倉庫を作る必要が出てくると思います。

○座長 恐らくこれまでの備蓄倉庫は、学校側がスペースを貸していたので備品が入っていたということですよ。今回は最初から防災用の場所になりますから、学校の備品は入れないことになるかと思います。

○事務局 本日午前中、第五中学校の改築懇談会で指摘を受けた箇所について紹介します。

(1) 背景の下に第1グループの改築年次案を入れてあります。その下に注記で第一中の詳細な改築スケジュールは、5(4) 想定工程・想定工事ステップ図を参照と記載していますが、この表は昨年の『武蔵野市学校施設整備基本計画』で改築順を定めた際に使ったもので、設計や工事は目安として記載していますので、表と後述の工程がずれているのではという指摘を受けました。

文言を第1グループの改築順という記載に整理し、あくまでもこれは改築順を示すもので、工程は後のページを見て下さいという形変に更をする予定です。

○委員 整備方針の体育施設ですが、前回、前々回と武蔵野市の児童、生徒の運動能力が、周辺自治体と違う結果が出ているという話をしました。客観的に分析して設備的に生徒の体力、運動能力を向上、解決できることが無いかを検討するという項目を、③に入れていただけないかなと思っています。そういった要素を反映していただけないかという要望です。

○事務局 現状分析について、校長先生の方で何かありますか。副校長先生の方が良くご存知ですか。具体的に、委員がおっしゃった内容を、どう記載すればいいかが難しいので

すが、何かありますか。

○副座長 調べなければなりませんので、この場ではお答えできません。

○委員 筋力について、周辺地域は大体東京都平均で推移していますが、武蔵野市だけ、小学一年生の段階から低い。小学四年生くらいから段々体格が大きくなって行って、筋力がそれに付いていく感じで数字も推移していくのですが、中学校に入ってから筋力の伸びが武蔵野市だけ凄く悪いです。

ソフト面では、体育の教員の方々は異動されるので、そんなに自治体で大きな変化は無いと思います。なぜ武蔵野市だけ、筋力が育たない状況なのかが引っ掛かります。

設備的に何か解決できる要素があるかは気になるところです。

○座長 難しいですね。坂がない、交通が便利すぎる等でしょうか。

○事務局 昨年度策定した『武蔵野市学校施設整備基本計画』27 ページをご覧ください。

学校教育の校庭、空間構成・仕様等の一番上で、小学校はうんていを必置とするとしています。中学校は、特に必置としていません。小学生を想定して、握力等の問題については、昨年度の段階で議論しました。

○座長 先ほど委員からは教員の異動により、ソフト面ではあまり変わらないのではという話がありましたが、学校設備もそんなに変わらないと思います。そうすると、もう少し別の観点、学校教育じゃない可能性も視野に入り、幅広くなってしまって、分析が難しい状況になってしまいます。

○委員 今のお話について握力というのは、下半身の力がないと上がりません。各学校に家庭から近い、坂も無いという点は大きな違いかもしれません。便利な街ですからその可能性もあります。

○委員 近隣の四市と体育設備で違う部分は芝生にしているかどうかという所です。

コスト面や色々な要件で排除されていますが、筋力に大きな影響が出てくるなら投資していくのも、一つの検討材料なのかなと思います。

○副座長 体育科の教員としての見解では、芝生にしたことで筋力に大きな影響が出てくることは無いように思います。

○事務局 芝生化については、費用面だけで無く、特に中学校は芝生化によって使用制限が掛かるので授業に支障が出ます。その点も加味すると、今回は芝生を採用しないという結論に至りました。

○座長 素案についてはここまでとします。

---

◎報告事項（１） 第一中学校改築基本計画素案への意見募集  
および今後の予定について

○座長 次に、報告事項１、第一中学校改築基本計画素案への意見募集および今後の予定について、事務局より報告をお願いします。

○事務局 資料４をご覧ください。

まず素案に関する意見募集について、第一中学校の学区内在住者、一中、一小、井之頭小の教職員を対象とします。受付方法は郵送、電子メール、FAX、持参のいずれかです。

一般配布は、市の教育企画課、市政資料コーナー、御殿山・中央・吉祥寺西コミセンで配布を予定しています。市ホームページでも掲載します。

個別配布ですが、一中、一小、井之頭小の保護者、各中学校近隣住民、2Hの範囲については概要版を配布する予定です。懇談会委員の所属団体には、各委員に相談し、個別対応とさせていただきます。

次に説明会です。第一中学校は11月14日（土）、午前10時半から11時半、第一小学校の体育館。11月22日（日）、10時半から11時半、芸能劇場の小ホール。11月24日（火）、午後6時半から7時半、第一中学校体育館で、全3回実施予定です。内容は全て同じです。

今後の予定ですが、11月4日（水）に教育委員会定例会で素案の報告をし、11月12日（木）に定例校長会で報告させていただきます。11月13日（金）の市議会文教委員会で行政報告を実施し、同日13日（金）から27日（金）の2週間で、素案の意見募集を実施します。その後、12月21日（月）が第6回の改築懇談会です。これが最終になりますが、内容を確認いただく予定です。年明けの1月6日（水）の教育委員会定例会で、計画を議決いただく予定です。

年度内、来年の3月末までに、来年度以降実施する基本設計・実施設計の設計者選定プロポーザルを実施する予定です。そして、令和3年度が基本設計・実施設計ということで、基本設計段階ではまた改築懇談会を開催して、意見をいただきたいと思います。

○座長 では報告事項についてはここまでとします。次回が最終回ですね。事務局からは何かありますか。

○事務局 次回の予定ですが、12月21日（月）の同時刻18時30分から、こちらの会場で実施しますので、よろしくお願いします。

○座長 それでは本日の懇談会を終了します。ご協力ありがとうございました。

午後 8時30分閉会